



アンケート回答への御礼として受領



輝男撮影（各国の国旗と大屋根リング）

万博見聞雑感

これまで「万博」なるものを一度も見たことがなかったため、家内と娘の介助のもと、二泊三日で万博を訪れる機会を得た。連れて行ってもらったことに感謝している。以下に、幾つかの雑感を記しておく。多くは帰宅後のアンケートにも記載済みである。

1 「並ばない万博」のはずが…

「並ばない万博」を標榜していたにもかかわらず、イタリア館に入館するまでに 5 時間半も並ぶ羽目になった。事前予約は何度挑戦しても取れず、来場者数と予約可能枠のアンバランスが原因と思われる。あれだけの長蛇の列ができていたのであれば、整理券の配布など何らかの対策が取れたはずで、無策ぶりには呆れた。整理券があれば、他のパビリオンも見ることができただろうに。

2 奇跡的に予約できたパビリオン

そんな中、奇跡的に 3 日前の夕方枠で予約が取れたパビリオンがあり、「火星の石」を見ることができたのは大きな収穫。ただし、鑑賞後は質疑応答の時間もなく追い出され、やや消化不良だった。展示コンセプトは「藻でゴミが水に、水が素材に、素材がモノになる」という循環の理念だったが、抽象的でわかりにくく、もう少し具体的に見せてほしかった。

3 大屋根リングの壮観

大屋根リングはやはり圧巻である。万博終了後、どのように活用されるのか興味深い。

4 当日登録の難しさ

当日登録が可能なパビリオンもあったが、どこも人が多く、長蛇の列に諦めざるを得なかった。

5 年配者には厳しい

つらつら考えるに、年配者にとってはなかなか過酷な環境だったように思う。

6 小学生の校外活動

小学生たちが多数訪れていたのは微笑ましく、良いことだと思う。彼らの心に何が残ったのか気になるところだ。

7 建築意匠の多様性と説明不足

各国のパビリオンの建物はユニークで、それぞれの特色があり、眺めているだけでも楽しかった。ただし、その建築に込められたテーマや意図の説明が乏しく、周知や案内の工夫が欲しかった。

8 列への割り込みとマナーの違い

外国人観光客が多いのは良いことだが、列への割り込みをする姿が散見された。会場スタッフも気づかずスルーする場面もあり、何らかの対策が必要だろう。日本人の行儀の良さが際立っていた。

9 ゴミの少なさと来場者のマナー

会場内にほとんどゴミが落ちていなかったのは印象的だった。スタッフが拾っているのか、来場者のマナーが良いのか。いずれにせよ、快適な空間だった。

1 0 シャトルバスの予約制度の不明確さ

桜島駅からのシャトルバスは便利だったが、事前予約が必要とされる一方で、復路では交通系 IC・クレジット・現金いずれも利用可能のようだった。一体、予約制度は何のためだったのか疑問が残った。

1 1 久々の温泉

宿泊先のホテルで久々に大浴場に浸かることができた。体調の関係で長湯はできなかったが、良い気分転換となった。

1 2 隣国学生のマナー問題

ホテルには某隣国の学生団体が多数泊まっており、そのマナーの悪さには閉口した。教師らしき引率者もいたようだが、指導がなされていないように感じた。「旅の恥は掻き捨て」とはこのことか、将来が心配である。

1 3 イタリア館人気の理由と反省

イタリア館が人気だったのは、国外初持ち出しの美術品が展示されていたためだ。自分の審美眼の未熟さを感じたが、それもまた一つの学びであった。